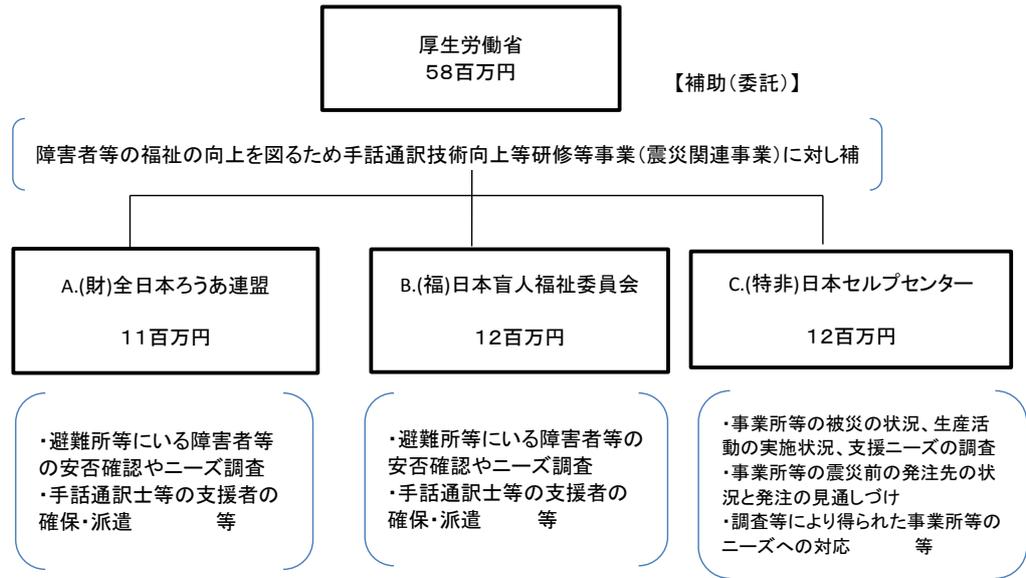


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	手話通訳技術向上等研修等委託費 (復興関連事業)		担当部局	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	企画課自立支援振興室		君島淳二		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」により被災した障害者又は障害児(以下「障害者等」という。)が避難所等において安心して生活を送ることができるように、障害特性に応じた支援体制を整え、もって障害者等の福祉の向上に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	障害者団体で組織された支援本部が、障害者特性に応じた支援者を確保するための連絡・調整を行った上で、支援者の派遣調整等を行うとともに、ニーズ調査等も行い必要な支援を行う。また、今回の「東日本大震災」における支援状況等を踏まえ、初動マニュアル、安否確認マニュアル、派遣調整マニュアル等を作成する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	/	/	/	
		補正予算	/	/	58	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
		計	/	/	58	/	/	
	執行額	/	/	34	/	/		
	執行率 (%)	/	/	58.2%	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	当該事業は、障害者等が避難所等において安心して生活を送ることができるように、障害特性に応じた支援体制を整え、もって障害者等の福祉の向上に資することを目的とする事業のため、定量的な成果目標は示すことができない。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	当該事業は、障害者等が避難所等において安心して生活を送ることができるように、障害特性に応じた支援体制を整え、もって障害者等の福祉の向上に資することを目的とする事業のため、定量的な活動指標は示すことができない。		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	-
			活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
	-			-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	/	/	/					
	/	/	/					
	/	/	/					
	/	/	/					
	/	/	/					
	計							

事業所管部局による点検		
評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○ 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	障害者等が避難所等において安心した生活を送ることができるように、障害特性に応じた支援体制を整え、もって障害者等の福祉の向上に資する事業となっている。
	○ 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	東日本大震災後における被災した視聴覚障害者等に必要支援を行うには、被災自治体等では困難であり国が視聴覚障害者等の障害者団体の協力のもとで実施する必要があった。
	○ 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	不用額については、当初、障害福祉施設等に対する情報提供・助言、人的物的支援の調整等に係る委託費を交付することを予定していた団体について、その関連団体からの拠出金により対応が可能となったことにより、委託費が必要なくなったことによるものである。
資金の流れ、費目・使途	○ 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	障害特性に応じ、事業内容を十分に実現しうる団体に対して、委託費を交付している。
	- 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	- 受益者との負担関係は妥当であるか。	
	- 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業に必要な賃金や旅費等の経費のみが計上され、適切に事業が実施されている。
活動実績、成果実績	- 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	- 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	- 活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	- 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	- ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	委託費を交付した団体において、今回の「東日本大震災」における支援状況等を踏まえ、初動マニュアル、安否確認マニュアル、派遣調整マニュアル等を作成し、自治体や障害者団体等に配布を行った。
点検結果	<p>○当該委託費は、団体毎に交付決定・交付額の確定を行っており、事業毎に適正に執行されている。</p> <p>○委託先の各団体において、委託内容に沿った事業実績をあげ、事業の目的を果たしている。</p> <p>○障害者基本法では、「国は、障害者が円滑に情報を取得し及び利用し、その意思を表示し、並びに他人との意思疎通を図ることができるようにするため、障害者に対して情報を提供する施設の整備、障害者の意思疎通を仲介する者の養成及び派遣等が図られるよう必要な施策を講じなければならない」とされているところであり、当該事業は、被災地の障害者等が避難所等において安心した生活を送れるよう、他人との意思疎通を図ることを可能にし、もって障害者等の福祉の向上に資する事業である。</p>	
予算監視・効率化チームの所見		
-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		
<p style="text-align: center;">関連する過去のレビューシートの事業番号</p>		
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー

(23年度実績見込の例)



(注)計数は各欄で端数処理(四捨五入)している。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(財)全日本ろうあ連盟			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費 (賃金)	派遣調整業務等に係る委託	6			
旅費	現地調査旅費等	2			
賃金	賃金職員	1			
諸謝金	手話通訳者謝金等	1			
その他	会議費、印刷製本費等	1			
計		11	計		0
B.(福)日本盲人福祉委員会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	マニュアル作成費等	8			
謝金	マニュアル編集委員会謝金等	2			
旅費	マニュアル編集委員会旅費等	1			
その他	非常勤職員手当、雑役務費、消耗品費等	1			
計		12	計		0
C.(特非)日本セルフセンター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	賃金職員	5			
その他	消耗品費、雑役務費、通信運搬費等	3			
委託費 (雑役務費)	派遣調整業務等に係る委託	2			
旅費	現地調査旅費等	2			
計		12	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全日本ろうあ連盟	障害者等の安否確認やニーズ調査、手話通訳士等の支援者の確保・派遣等	11		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本盲人福祉委員会	障害者等の安否確認やニーズ調査、手話通訳士等の支援者の確保・派遣等	12		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本セルフセンター	障害者等の安否確認やニーズ調査、手話通訳士等の支援者の確保・派遣等	12		